

平成30年10月4日
 東日本高速道路株式会社
 北海道支社

冬の高速道路は交通事故件数が約1.7倍に！

～ 早めの冬装備と雪氷作業へのご協力をお願いします ～

NEXCO東日本北海道支社(札幌市厚別区)は、平成30年10月16日から平成31年4月30日までの197日間を「^{せつひょう}雪氷対策期間」と位置づけ、24時間体制で気象や道路状況の把握と除雪作業にあたる体制に移行します。

冬タイヤの装着など早めに装備していただくとともに、雪氷作業へのご理解とご協力をお願いします。

1. 冬の高速道路の交通事故について【参照:別紙1】

昨年、北海道の冬期(11月～4月)の高速道路では、夏期(5月～10月)の約1.7倍の交通事故が発生しました。

冬期間、高速道路をご利用される場合には、気象や路面状況に応じた安全運転でのご利用をお願いします。

<北海道支社の管理事務所の主な初雪観測日>

地域	管理事務所	昨年の初雪観測日
道東	帯広	10月11日
道北	旭川	10月15日
道南	室蘭	10月17日
道央	札幌	10月17日

※昨年は10月に初雪が観測されています。

例年、11月から事故が急増するのじゃ。
 「マンがいち、モシかして…に備えて」
 車の冬装備は早めに！



雪道研究家
マンモン博士

2. NEXCO東日本北海道支社の雪氷作業について【参照:別紙2】

(1)概要

- ①管理延長 696.3km
- ②雪氷基地数 26カ所
- ③雪氷車両数 189台
- ④雪氷作業総従事者数 のべ約34,000人(臨時召集除く)

(2)雪氷作業について

高速道路では、車線ごとに除雪のムラが生じないように除雪車を3台並べ車線全体を除雪します。

※通行止めや交通規制を最小限にするため、効率的な作業に努めています。

(3)雪氷作業時のお願い

- ・降雪状況に応じて、低速で作業を行うため除雪車の追い越しはできませんが、一定時間ごとに後続車が追い越せるよう除雪車を道路脇に退避させますので、ご理解とご協力をお願いします。
- ・天候が回復しても、路面状況により、除雪、凍結防止剤散布、路肩部の排雪などの作業を行うことがありますので、ご理解とご協力をお願いします。

3. 雪氷対策出陣式

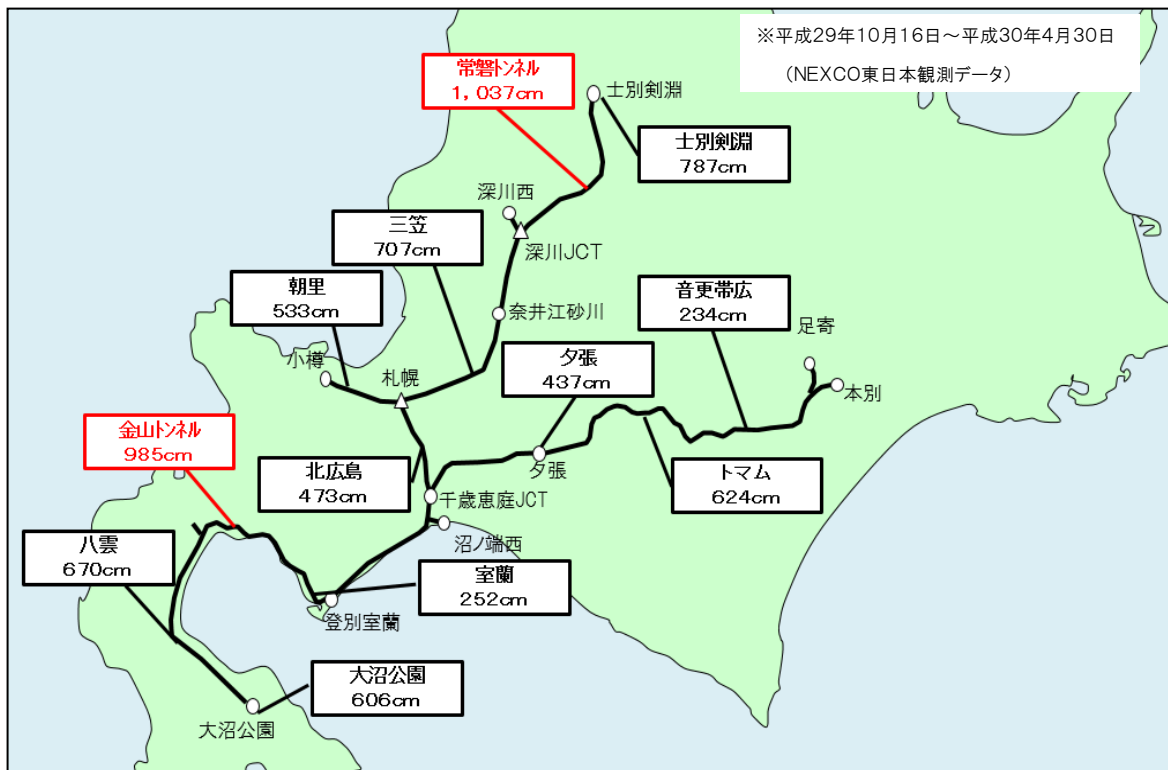
冬期の安全な交通確保や当社グループが一丸となった雪氷作業の無事故を祈る安全祈願として、「高速道路雪氷対策出陣式」を以下のとおり行います。

日時	場所	人員・参加作業車	管理事務所
10月11日(木)9:30~10:00	E38 道東道 音更帯広IC 駐車場	約70名・約15台	帯広
10月11日(木)10:30~11:30	E5 道央道 旭川鷹栖IC 駐車場	約60名・約30台	旭川
10月12日(金)10:00~11:00	E5 道央道 岩見沢IC 駐車場	約50名・約30台	岩見沢
10月17日(水)9:30~10:30	E5 道央道 北広島IC 駐車場	約70名・約40台	札幌
10月17日(水)11:00~11:30	E5 道央道 室蘭IC 駐車場	約80名・約40台	室蘭
10月17日(水)11:00~12:00	E5 道央道 苫小牧西IC 駐車場	約70名・約30台	苫小牧
※雨天の場合は、車庫で行います。		合計	約400名・約185台

4. 昨シーズンの降雪状況

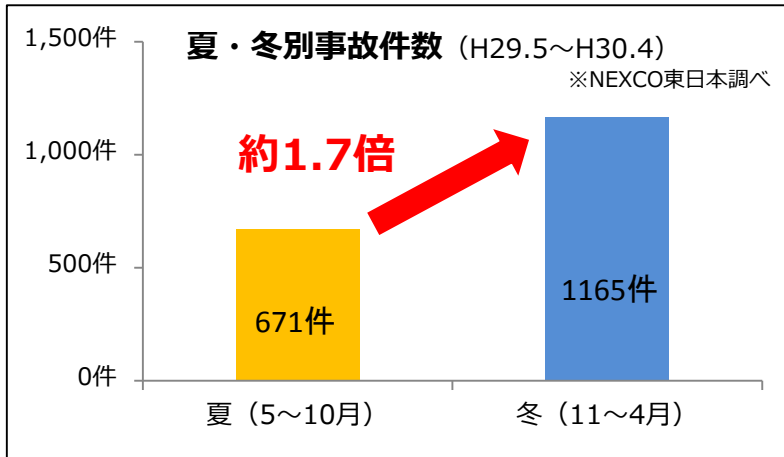
昨シーズン(平成29年10月~平成30年4月)の北海道内の高速道路の累計平均降雪量は、約486cmで、特に多かった地域の累計降雪量は常磐トンネルの1,037cm、次いで金山トンネルの985cmでした。

また、雪氷作業にあたった作業車の総走行距離は約31万km(地球約7.8周分に相当)でした。



<昨シーズンの累計降雪量>

要注意！ 冬の北海道は春～秋に比べ事故件数が約1.7倍！



例年、初冬の11月頃から事故が急増します。

早めの冬タイヤへの交換をお願いします。

冬の路面は雪や氷に覆われ、非常に滑りやすくなっており、夏期と同じようなスピードやハンドリングでの走行は非常に危険です。

常に「もしも…」を考えて細心の注意を払い走行してください。

○出発前のチェックポイント

①早めの冬装備を

例年、初冬の11月頃から事故が急増します。特に日陰の路面や橋の上などは凍結しやすいので注意が必要です。早めの冬装備を心がけましょう。



冬タイヤチェック



冬ワイパーチェック



冬用ウォッシャー液チェック

②故障のトラブルがないために

北海道の高速道路での故障車は、年約4,400件。(H29.5～H30.4実績。NEXCO東日本調べ) 出発時の点検は忘れずに行いましょう。



バッテリーチェック



ガソリン量チェック



オイル量チェック

○本線走行のチェックポイント

①気象の急変に注意

冬は晴れていても急に吹雪になることがあります。天候の変化に気を付けましょう。



③車間距離は夏より長く

雪の路面では、車が止まるのに夏の3倍以上の停止距離が必要です。車間距離を長くとりましょう。



④「急」は禁物

急ハンドル・急ブレーキ、急加速はスリップを招き、大きな事故につながります。「急」は絶対禁物。



②吹雪や地吹雪による視界不良時はライト点灯を

吹雪や地吹雪によって、突然視界が失われることがあります。常にライトを点灯し、自分の車を目立たせましょう。

⑤大型車に注意

トラックやバスなどの大型車が近付くと、雪煙で視界が悪くなる場合があります。事前にワイパーを作動させましょう。



もしも故障や事故にあったら…

道路緊急ダイヤル #9910 (キューキュートラブル)

※携帯電話・PHSからご利用いただけます。

非常電話 1km(トンネル内200m)おきに設置

※受話器を上げるだけでつながります。



(1) 雪氷作業時のお願い

雪による通行止めや交通規制を最小限にし、高速道路をより安全・快適にご利用いただくため、24時間体制で雪氷作業に取り組んでいます。
路面状況によっては、天候が回復しても作業を行っている場合があります。

安全優先のため、 追い越しはできません

除雪車が寄せた雪で路面に段差ができるため、安全性を考え追い越しはできません。



お客さまの車を 優先できるよう、 作業を一時中断 しています

除雪作業中は低速走行となり、追い越しはできませんが、一定時間ごとに除雪作業を中断し、後続のお客さまの車を優先できるよう、除雪車両を道路脇に退避させています。



ご理解とご協力をお願いします。

ETCご利用のお客さまへ

雪氷作業は24時間体制で行っているため、ETC時間帯割引の適用をご希望されるお客さまは、時間に余裕を持ってご利用下さい。

雪氷作業のいろいろ

一般除雪



除雪車が3台並んで車線全体を除雪する方法です。この作業に限り追い越しはできません。

拡幅除雪



路肩部に堆積した雪をロータリー除雪車で路外に投雪します。橋梁・高架部では、ダンプに積み込み運搬します。

凍結防止作業



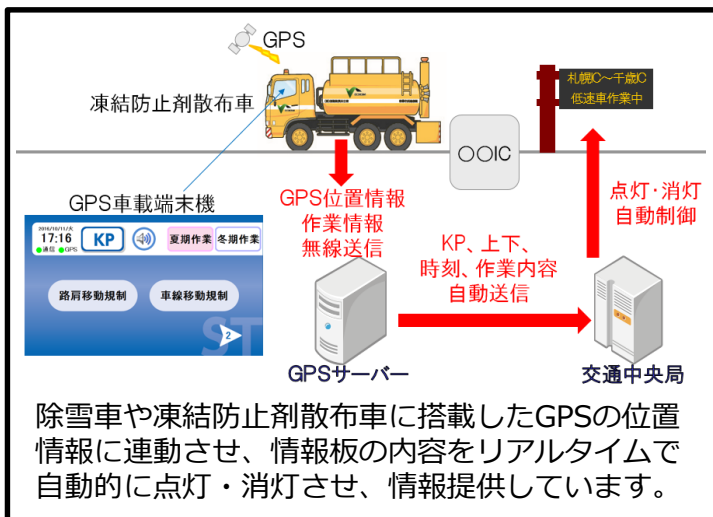
路面凍結防止のため、凍結防止剤（塩化ナトリウム）を散布。散布中の作業車を追い越す際には、十分ご注意ください。

(2) 雪氷対策の取組み

NEXCO東日本北海道支社では、雪氷作業を効率的に進める取り組みを実施しています。

- ①雪氷作業車にGPSを搭載し、作業状況をリアルタイムに情報提供
- ②除雪作業車編成の工夫による作業の効率化

①GPSによる雪氷作業の リアルタイムな情報提供



②除雪作業車編成の工夫による 作業の効率化

